

## 特集！！ SST が得意なビル！？ 経験豊富な新入社員に迫る！



政広 平（まさひろ たいら）さん。  
 4月より TNS で勤務しています。「楽しむための努力ができる！」がキャッチフレーズ！！  
 SST のスキルが高く、TNS 支援員が修了している SST ファーストレベルは、宝塚三田病院の吉田先生と政広さんのコンビで講師を務める研修によるもの。  
 現場でのスキルも高く、特に動機づけの支援やフィードバックのスキルはとても勉強になります。  
 これからもよろしくお願いします。

※ 政広さんも PSW（精神保健福祉士）を所持しています。  
 これで29ビルには、TNS とあまなクリニックを含め、合計8名の PSW が在籍することになりました。  
 ここまで PSW が一カ所に集まる地域拠点は珍しいのでは？！

## 効率化 PJ でファイリングに一工夫！

どこぞの誰かが、書類を出したら大体の場所に戻す！  
 がんじゅでは日常茶飯事でした。  
 「トヨタの片付け」という書籍では、一日の内、書類や PC データを探している総時間は 30 分と調査されています。これを年間に換算すると 15 日分。これが社員数となると・・・。  
 結構、仕事していない時間が多いのかもしれない。  
 それを作り出していた張本人のために、プロジェクト（PJ）リーダーの比護さんが一工夫！  
 ファイルを種類ごとにファイル Box に分類、さらに Box に「あいうえお」やナンバリングを行い、書棚中の定位置を見える化！！  
 常に同じ場所に戻せるようになり、検索時間が短くなりました。



種類ごとにまとまっています。



個人ごとにまとまっています。

尼崎市では、南海トラフ大地震によって市内約 1/5 が浸水すると想定されています。  
 市全域を対象として防災に関する看板等の設置を進めてきたようですが、この度、さらに追加！  
 新たに 600 枚の看板を設置し、指定避難所周辺を中心に、約 1200 本の電柱に誘導板や案内板を設置完了。  
 しかも、4 カ国語対応です！！  
 市内を移動することがあれば、少し目をとめてみてもらえるといいのではないのでしょうか。  
 有事の際、私たちは誘導する側です。  
 どこに何があるかを「知っている」は、自分と利用者さんの命を守る第一歩です。

## 市長定例記者会見から“知る”



## 持続可能な開発目標のために！

SDGs（エスディーゼズ）って知ってますか？  
 最近では新野が胸につけてます（右の写真のバッジ）。  
 2015 年 9 月の国連サミットで採択された 2030 年までに達成すべき国際課題への取り組みのことです。  
 17 の目標と、それらを構成する 169 のターゲットからなっています。  
 近年、大企業を中心にこの SDGs を社業に取り入れて活動が行われており、今大注目のワードです。  
 実は TNS もこれ、やってるんですよ！！  
 例えば「目標 1：貧困をなくそう」  
 具体的なターゲットは、各国の貧困層や脆弱層に強靱性（レジリエンス）を構築し・・・などと国際課題すぎて、私たちにできることは少ないと思ってしまうがち。しかし、SDGs の理念である「誰一人取り残すことなく」に沿うと、私たちがすでに貢献しているんです！



2015 年 9 月の国連本部



目標 1 に該当するのは、生活相談による保護受給支援や、逆の保護からの脱却支援（就労支援）。  
 いずれも貧困を緩和するための支援の一つです。  
 29 ビル全体でも SDGs に取り組み、より良い社会の実現をともに目指しましょう！



世界には今、世界銀行で定めた国際貧困ラインという指標があります。これは 1 日 1.9 ドル未満で生活している人を指し、現状、7 億人以上とされています。

1.9 ドルとは日本円で約 206 円（6/10）。  
 7 億人とは約 10 人に 1 人の計算です。  
 日本を含めた世界の視点では、現在、約 10 人に 1 人が貧困だということになります。  
 世界は今、2030 年までにこの課題を 0 にしようとしています。貧困層や脆弱層への金銭的融資施策だけでなく、各国が持てる技術や知識を共有し始めています。  
 そして、各個人や企業はできることから始めています。「お寺おやつクラブ」や「こども食堂」はその一端を十分に担っています。  
 29 ビルで何か取り組みませんか???



TNS の facebook では、メンタルヘルスや障害者雇用、SDGs に関する情報を配信中！  
 「いいね」お願いします



TNS のホームページでは、卒業生インタビューや日々の活動の様子、プログラム内容の補足などを更新中！



左の QR コードで、あまなクリニックのデイケアの様子が見れるよ！  
 どんな活動があるのか、一度アクセスしてね！

## 『人は作業なしでは生活できない！』



「人は作業なしでは生活できない。誰かと、何かと関わっている限り、そこに作業は存在する。」そう話してくれたのは、精神科デイケア“オルオル”の松下さん。

オルオルはあまなクリニック（精神科）併設のデイケアで、松下さんは作業療法士（OT）だ。

作業と聞くと、何かを作ったりすることを思い浮かべるが、作業療法士が対象とする「作業」はそればかりではない。人が人として活動するすべての行為を「作業」として捉える。身体的側面、精神的側面、環境的側面など、多様な視点で対象者を評価し、「できないことをやりやすく」するための介入を仕事としている。つまり“応用動作”の専門家だ！

ここで一つ、基本的な疑問。理学療法士（PT）とはどう違うのか？

OTが“応用動作”の専門家なら、PTは“基本動作”の専門家としてもいいのだからと思う。

そんな松下さんに聞いてみた。精神科における支援でズバリ何をしているの？

「何でも屋さん」と彼は答えた。精神科リハビリテーションでは、PSWなどと業務が異なることは、ほぼないと彼は言う。患者さんをアセスメントし、アプローチする際の科学的根拠や原理原則、介入意図の設定が作業療法士としての視点であるだけで、人を見て、ストレンクスへ介入することに変わりないとのこと。

多職種連携が叫ばれる昨今、より良く協働していくために必要なこと、できることは何か、それぞれが考えてみよう！！

アイディアはがんじゅ新野まで。

行政による障害者雇用水増しが発覚して以降、中央省庁では緊急雇用が活発となった。公表されている情報では、事件が発覚した昨秋以降に採用された障害者数は2,518人。

今回、その2,518人うち、HPで公表されているだけで131人がすでに退職したとの報告がなされた。

これは当事者そのものの課題なのだろうか？

読売新聞の記事によると、その退職理由は行政にあるとしか思えない。

「指示された仕事が終わったので、次の指示をください。」そう申し出た女性に対して、上司が出した指示は「ちょっと待ってて」であった。待てど来ない指示に繰り返し確認するも、「ちょっと待ってて」を繰り返され、その女性は一日、同省のHPを見て過ごしたという。これは国土交通省での話だとされている。

今回の緊急雇用、中央省庁というブランドに惹かれ、民間企業から多くの障害者が流出したと言われている。障害者雇用を主導していく中央省庁には、障害者雇用に関するノウハウは全くなく、民間から貴重な人材を引き抜き、使い捨てたと思われても仕方がないのではないだろうか。

就労移行支援では、仕事や職場と本人のマッチングを図ると同時に、企業のノウハウにもアプローチすることがある。行政にはマジメに取り組んでもらいたい。

## 131人が退職！！ 実態は？

### 読売新聞

<速報> 犬猫にマイクロチップ装着義務化、改正動物愛護法が参院で可決・成立

ニュース > 国内

### 「HP見るだけ」緊急雇用の障害者131人退職



## 佐藤が斬る！

### エゴグラムで見る就労支援！！

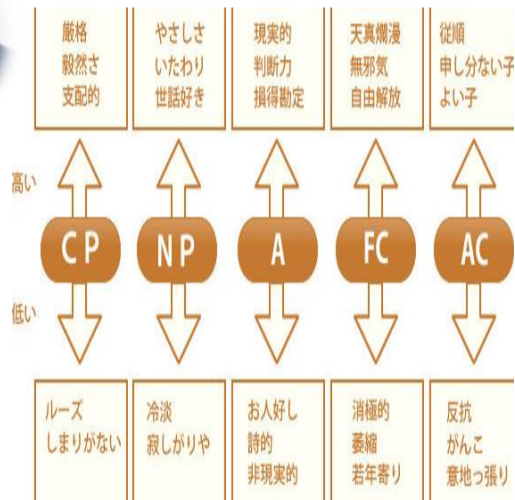


交流分析という心理療法理論をもとにした、パーソナリティ検査を言う。人の心のエネルギーを、CP、NP、A、FC、ACと5つの特性に分類して、どのエネルギーが高いかによってその人パーソナリティをみる。例えるならば、心を一つの家族とし、厳しいお父さん(CP)、優しいお母さん(NP)、頼りがいあるお兄さん(A)、元気な弟さん(FC)、素直な妹さん(AC)の5人家族でだれのエネルギーが強い家庭なのか？という見方だ。

検査方法は、50問程度の質問に答えて、それを点数にしてグラフにする。そのグラフの形から、その人のパーソナリティを見る。カウンセラーや心理療法家はそれをコミュニケーションの中で作成したりもする。

『エゴグラム』を就労支援でどのように活用できるのだろうか？例えば、CPが強いひとは、こうしなければならない！という自分ルールが強くなる。こういう方には、SST やグループワークで、いろいろな考え方や対処法を訓練すると効果が期待できる。ACが強いひとは、素直だが自分の意見を言いにくい。そういう方には、作業訓練の中で、報告の練習など、発信技能を高めることを意識してアプローチする。

このように、エゴグラムでみえたパーソナリティから訓練内容やご本人の自己覚知促進の見立ての一つとして活用することもできる。



## 頑張れ！ バイマックス！

受付だけではないかもしれないが、あまなクリニックでは今、バイマックスが大流行！

白衣の旨に突き刺さっている。

原作と違い、アニメでは、看護ロボットの設定になっている。主人公の兄が設計、開発したロボットであったが、事故により兄は帰らぬ人に。残された主人公（弟）は、傷つき、ふさぎ込んでしまいます。看護ロボットであるバイマックスは主人公に「どこがどれくらい痛いのか？」と尋ねます。弟はケガではないと突っぱねますが、「泣きたいときは泣いてもいいのですよ」と寄り添いどマックスの展開を見せます。人の「本当の使命」とは何かを問うディズニー作品です。クリニックにはもってこいのキャラクターですね！



お肉もよろしく！  
ゆるるが清掃頑張ってます！  
清掃であなたとお肉との  
楽しい時間を  
演出しています。



ゆるる、がんじゅ では、軽作業を募集しています！手作業、入力、事務補助など。委託してください。これまで隙間にやっていた作業をください。

空いた時間を本業に専念できますよ！ ゆるる、がんじゅ にとっては工賃アップと訓練になります。助け合いのパートナーシップを！